



緑内障手術後の乱視変化に関する検討

2015年1月1日から2024年9月30日までに日本医科大学付属病院眼科で緑内障のために手術治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「緑内障手術後の乱視変化に関する検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年1月1日より2024年9月30日までに日本医科大学付属病院眼科にて、緑内障のために手術治療を受けられた患者さんの手術後の乱視変化を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：緑内障手術後の乱視変化に関する検討

研究期間：研究実施許可日～2027年10月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 眼科 講師（教育担当） 白鳥 宙

(2) 研究の意義、目的について

一般に、眼の手術後には乱視が変化することが知られています。乱視は術後の眼の見え方に関わる重要な要素です。緑内障手術においても乱視が変化することがありますが、どのようにどの程度変化するかどうかということは十分に知られていません。そこで、本研究では、緑内障手術後の乱視変化について明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年1月1日より2024年9月30日までに日本医科大学付属病院眼科にて、緑内障のために手術治療を受けた患者さんの乱視変化に関して、統計的に検討を行います。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、手術眼の左右、緑内障病型、緑内障手術の術式、白内障手術の有無、白内障手術施行例の白内障手術術式（乱視矯正用眼内レンズ使用の有無）、手術前後の角膜乱視の乱視の大きさと乱視の方向、手術前後の視力、手術前後の眼圧、他の眼疾患の有無、他の眼手術歴の有無、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 眼科 講師（教育担当） 白鳥 宙

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24263

メールアドレス：shiratori@nms.ac.jp